

平成 29 年度大阪府立西野田工科高等学校 定時制の課程 第 2 回学校協議会

□日 時：平成 29 年 10 月 26 日（木）午後 18:00～ 午後 20:00

□出席者：委員 6 名、准校長、教頭、主査、教務部長、進路部長、生徒部長、記録担当者

□第一部：会長あいさつ、准校長あいさつ、学校の取組み報告

□第二部：報告および協議

◆授業アンケート結果について（教頭より説明）

- ・「平成 29 年度 第 1 回授業アンケート（6 月実施）」について説明
- ・今年度の傾向および昨年度との比較

◆学校の状況報告（教務部・進路部・生徒部より説明）

□教務部

- ◇今年度の進捗状況 ◇生徒数の推移
- ◇概要・取組状況（基礎学力の向上・カリキュラムの整備・中退防止と原級留置の減少など）
- ◇生徒の出欠状況 ◇資格取得状況

□進路部

- ◇卒業予定者数と進路状況（10 月 1 日現在）
- ◇進路指導 ◇教育相談 ◇今後の取組み

□生徒部

- ◇生徒指導（懲戒報告・現状報告など）
- ◇特別活動（生徒会・部活動などの活動報告）
- ◇部活動在籍者数 ◇生徒部統計 ◇今後の取組み

□平成 29 年度これまでの取組み

◇委員からの意見

- ・様々な取組みで学校の雰囲気が生徒にとって居場所になりつつある。
- ・生徒がアルバイトよりも正規雇用を目標にできるよう進路指導をしていただきたい。
- ・生徒数が少ないため人間関係も近く、生徒同士のコミュニケーションがとりやすい。
- ・小・中学校と違い高校は生徒と先生の距離が遠く、それが原因で不登校になることもある。

◆まとめ

- 生徒数は少ないが、部活動をはじめ様々な行事等でコミュニケーションをはかりながら生徒の居場所になるよう継続した指導をしていただきたい。
- 多くの生徒がアルバイトしている状況で難しいが、卒業後は正規雇用で就職できるように指導していただきたい。
- 生徒との距離が近く、先生方の指導もいきとどいているなど、この学校の良さを前面に出て今後も生徒の居場所を確立していただきたい。